



市議会だより

平成26年

第64号

2014.8

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町 1-1 TEL39-2322]



あおぞら保育所

平成26年
第2回

定例会

6月16日～6月25日
(10日間)

主 な 内 容

- ・ 議決結果 P 2
- ・ 一般質問 P 3～8
11名の議員が市政全般について質問
- ・ 委員会報告等 P 8～10
総務文教委員会報告
保健福祉委員会報告
経済建設委員会報告
議会改革特別委員会報告
議会報告会開催予定
- ・ 臨時会・可決された意見書 P 11
- ・ 議会日誌・編集後記等 P 12

平成26年 第2回 富良野市議会定例会議決結果表

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議 案 第 1 号	平成26年度富良野市一般会計補正予算（第2号）	6月25日	原案可決
議 案 第 2 号	平成26年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	6月25日	原案可決
議 案 第 3 号	平成26年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	6月25日	原案可決
議 案 第 4 号	平成26年度富良野市水道事業会計補正予算（第1号）	6月25日	原案可決
議 案 第 5 号	富良野市財政調整基金の処分について	6月25日	原案可決
議 案 第 6 号	富良野市いじめZERO（ゼロ）推進条例の制定について	6月25日	継続審査
議 案 第 7 号	富良野市産業研修センター設置条例の全部改正について	6月25日	継続審査
議 案 第 8 号	富良野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	6月25日	原案可決
議 案 第 9 号	富良野市税条例の一部改正について	6月25日	原案可決
議 案 第 10号	富良野市国民健康保険税条例の一部改正について	6月25日	原案可決
議 案 第 11号	富良野市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	6月25日	原案可決
議 案 第 12号	富良野市公設地方卸売市場条例の一部改正について	6月25日	原案可決
議 案 第 13号	富良野市建設関係手数料条例の一部改正について	6月25日	原案可決
議 案 第 14号	富良野市過疎地域自立促進市町村計画の策定について	6月25日	原案可決
議 案 第 15号	富良野市教育委員会委員の任命について	6月16日	任命同意
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	6月16日	適 任
報 告 第 1 号	繰越明許費繰越計算書について	6月16日	報 告 済
意見案第1号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	6月25日	原案可決
意見案第2号	政府規制改革会議の「農業改革に関する意見」の取り扱いに関する意見書	6月25日	原案可決
意見案第3号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	6月25日	原案可決
意見案第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	6月25日	原案可決
意見案第5号	2015年度国家予算編成における教育予算確保・拡充を求める意見書	6月25日	原案可決
その他会議に付した事件	所管事項に関する委員会報告		
	・ 事務調査報告（総務文教）	6月16日	継続調査
	・ 事務調査報告（保健福祉）	6月16日	継続調査
	・ 事務調査報告（経済建設）	6月16日	継続調査
	議会改革特別委員会報告	6月16日	継続調査
	・ 例月出納検査結果報告（平成25年度1月分～4月分、26年度4月分）	6月16日	報告済5
	議案第10号富良野市国民健康保険税条例の一部改正についての訂正について	6月25日	許 可
	閉会中の都市事例調査について（総務文教・保健福祉・議会運営）	6月25日	許 可 3

黒岩 岳雄

〔ふらの未来の会〕

富良野市地域防災計画は

問 災害時の応急復旧業務協体制について。

答 「災害時における災害応急復旧業務に関する協定書」を富良野建設業協会外3団体と結び災害に備えている。構成企業の減少に対しては、新体制で担うよう変更している。市民の生命と財産を守ることは行政の最大の責務である。応急復旧業務にあたる協力事業者が地元あるいは圏域で確保できることは大変重要なことと認識している。

朝日ヶ丘公園の整備

問 公園内の桜の枯木、老木等の更新整備について。

答 朝日ヶ丘公園は道内において桜で有名である。この美しい景観から昭和30年に道立富良野芦別自然公園に指定されている。公園内東側の一部には土砂崩壊防備保安林もあり、安全管理上困難な場所もあるが、枯木や

老木の処分や植替えは市の判断により可能である。今後、公園の保全は必要と認識しており可能な範囲での整備を考える。



朝日ヶ丘公園 桜

市の広報活動は

問 本市のPRを意識したメディア対応について。

答 ヘそ祭り会場では「ヘそまる君」のバックボードの設置や全国高校選抜スキー大会では「スキー甲子園」を印字したボードを設置してPRしている。バックボードは「富良野」をPRする有効なものであり、記者会見、イベント案内、ワイン等の新商品発表会や表彰式など他団体の行事にも利用することが可能なので、導入を検討する。

岡本 俊

〔市民連合〕

財政健全化維持は

問 健全財政の維持の基本的な考えは。

答 東小学校校舎・屋内運動場改築など大型事業が重なり、地方債発行額が一時的に増加している。平成30年度の財政見通は、27年以降、事業費、地方債発行額と徐々に減る見通しである。今後、市税や地方交付税の増加は見込めない中、社会保障関係経費の増大が予想され「身の丈に合った財政運営」を基本に効率的な事業推進に努める。

過疎対策事業債の活用も検討していくことになるが、「過疎対策事業債ありき」ではなく、交付税措置のある地方債を活用し健全財政の維持を図る。

公有財産の利活用は

問 旧北の峯ハイツ施設の利用について。

答 旧施設は、今後多用途な活用が考えられることから、平成

25年12月に建物については社会福祉法人から無償譲渡され、土地は、本年9月まで借上げ契約しているが、再度協議を進め市民が多目的に交流・活動ができる施設として検討中である。



旧北の峯ハイツ

衛生用品資源化は

問 今後の衛生用品の資源としての利活用について。

答 昨年から衛生用品資源化に向けた破碎・乾燥等の実験を重ね、固形燃料化が可能かを確認し、実用化に向けた品質向上、臭気等の環境対策、資源化システムを検討し、北海道立総合研究機構と固形燃料ボイラーの燃焼試験も予定し農業や公共施設などの利活用について検討する。

日里雅至

〔民主クラブ〕

雨水幹線整備は

問 無頭川の整備方針と改修方法について。

答 無頭川は旧普通河川を雨水幹線として使用しており、多くの部分が積みブロック護岸で構築されており、加えて老朽化が進んでいる状況で補修改修の必要が生じている。今後は抜本的な改修を行う必要があると考えている。改修方法は開渠のまま積みブロック構造を三面張り構造に、市街地の居住地域は、ボックスカルバート構造など暗渠とし、雨水幹線の上を有効活用が可能な箇所については暗渠による改修を行い、活用方法は地域の特長性に合わせていく。これらの整備手法、補助制度については関係機関と協議中であり無頭川の改修は計画的に進める。

公共施設の防犯対策は

問 防犯カメラ設置について。



雨水幹線（無頭川）

答 市の施設で防犯カメラが設置しているのは、富良野小学校、麻町・中央保育所、東西自由通路、車両センターの5か所であり、建設が進んでいる東小学校、まちなか保育所へも予定している。

問 計画的に防犯カメラを整備する考えは。

答 防犯カメラの設置は犯罪抑止効果がある一方、監視カメラ化の懸念、プライバシーの侵害等負の側面もあるので、不特定多数が出入りする公共施設で、画一的に設置することには課題があると考えているが、今後防犯の視点、費用対効果等総合的に判断し防犯上特に必要である場合は適切に対応していく。

渋谷正文

〔ふらの未来の会〕

サイクリング観光の取り組み

問 富良野は施設環境やスタッフ体制など、国内外観光客の受入れに対応されており、これらの知識と経験がサイクリング観光の受入れに活かすことができると考える。ソフト・ハード面での課題と現状認識を伺う。

答 現在、富良野美瑛地域では、雄大な山岳景観や田園風景を活かしたサイクリング観光を進めている。地元の親子を対象としたサイクリング教室を開催するなど、サイクリングを楽しむ市民の拡大やマナー向上に向けた取り組みを進めている。更にマップの作成やサイクルラックの配置など、市民や観光客が気軽にサイクリングを楽しむことができる環境整備に努めている。一方、国内外の観光客に対応できるガイドの育成、案内看板の整備、トラブル時の対応等に課題がある。サイクルレーン及び看板設置や道路側帯の改良等

への支援に向けた要望書を観光庁長官に提出し、今後も課題の解決に向けて取り組みを進める。

問 沿線町村との連携の下、今後の取り組みは。

答 富良野美瑛広域観光推進協議会に、今年度よりサイクルツーリズム部会を設置し、サイクリングを楽しむための環境整備について議論を進めている。

今後の方向性は、既存ルートに加え広域にまたがる新たなルート設定を行い、情報の集約と発信を広域的に連携して進め、観光関係団体、道路管理者、警察などとの意見交換を行う。



サイクリングを楽しむためのサイクルラックの整備

△その他の質問▽
・人口減に対する備え、考え方
・農のある暮らし

一般質問

岡野 孝 則

〔民主クラブ〕

本市における適正な 地方債残高の考えは

問 平成26年度地方債残高は全会計の予想として187億4千5百万円で、市民一人当たり約80万円であるが、健全財政なのか、その見解は。

答 地方債残高など将来負担すべき実質的な負債を捉えた将来負担比率は、平成24年度で62.1%、道内35市中10番目に少ない値である。また、平成25・26年度において、大型建設事業等が重なり地方債残高は一時的に増加するが、財政見通し調査では事業完了に伴い、平成27年度以降は徐々に減少の見通しであり、地方債残高は適正な水準にあると考えている。

住宅の耐震化及び改築に 対する助成制度の充実は

問 平成27年度を目標として耐震化率90%を掲げているが、現在の耐震リフォーム事業に代わ

る新たな事業拡充の考えは。

答 本年3月末現在で耐震化率は72.8%である。現在の耐震リフォーム事業の要領に合致する方は、リフォームではなく建て替えられる方が殆どで、今後既存住宅を解体した所に新築される方に対し、解体費用の一部を助成することを検討する。

問 住宅リフォーム事業が平成23年度で終了したが、経済活性化のため再展開の考えは。

答 消費増税もあり地方経済の影響も懸念される。前回の住宅リフォーム事業は助成額に対し12.2倍の経済効果があった。計画的な修繕改修により良質な住宅を長期的有効活用が図られるよう制度再展開を検討する。



住宅解体作業

萩原 弘 之

〔民主クラブ〕

エネルギー政策は

問 衛生用品と固形燃料の地産地消は。

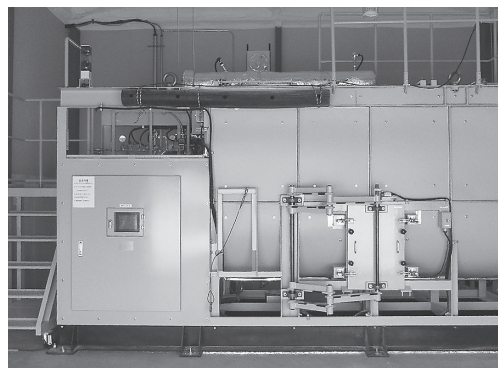
答 2年間様々な実証実験を実施しており、さらに課題が明らかになった中で充分固形燃料化が可能であると判断している。今後の活用方法としては、年

2500tの燃料供給が可能と見込んでおり、安定供給・利用価値・経済振興を考え地産地消に取り組んでいく。また、現在燃焼用ボイラーの試験も予定している。

問 研究機関との協力について。

答 今年、富良野圏域5市町村と北海道立総合研究機構が「地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデル構築の研究協力に関する協定」を締結した。本市は固形燃料の地域利用を重点課題として利用モデルの構築を図っていく。また、あらゆる地域資源の組み入れも検

証しながら、実証実験を進めていく。



衛生用品資源化処理機

地域コミュニティの今後は

問 コミュニティ推進員の役割について。

答 推進員は、「連合町内会の会合等に出席し密接な連携を図ること、地域活動に対し助言・指導を行い、地域の発展に資する。」ことを目的としている。

様々な課題把握に努めながら、その課題解決のため、推進員が業務として地域活動に取り組む役割を明確にし、職員が活動しやすい体制を整え、積極的に連携と意思疎通を図りながらコミュニティ活動を側面からサポートできる体制を検討する。

本間 敏行

〔ふらの未来の会〕

地域の雇用対策は

問 地元土木業者廃業後の従業員の再就職の動向と雇用対策は。

答 昨年廃業した土木工事業者につきましては、正社員14名の全員が再就職し、今年廃業した土木工事業者の正社員16名については、再就職5名、求職中7名、その他4名になっており、引き続き関係機関・団体と連携し、再就職に向けて努力していく。

子育て支援の充実は

問 乳幼児等医療制度について子育て支援の拡大を考え、体力的に未成熟な小学6年生まで、非課税世帯・課税世帯に関わらず入院及び通院費の無料化実現の考えは。

答 医療費の無料化の対象範囲の拡大は、子育て家庭の一層の経費負担の軽減となるものであり、多様な子育て支援の施策が求められる中で、そのニーズと

効果を検討しながら、具体的に実施する施策を選択する。現在、新たな子育て施策を進めているところであり、その中で乳幼児医療費助成の対象範囲の拡大についても検討していきたい。

問 認可保育所の保育時間延長の考えは。

答 子育て世代の若い人たちが働きながら子供を安心して出産し育てられる、育児と就労を両立できる環境づくりは、若い人たちの定住を図り、子どもを増やす上からも大切なことと認識している。現在、認可保育所再編による新たな保育所の開設に向け保育体制の検討を進めており、保育時間の延長についても併せて検討していく。



認可保育所（中央保育所）

後藤 英知夫

〔民主クラブ〕

移住促進は

問 富良野市への移住希望者に対して、どのような事前説明がされているのか。

答 市役所内に「移住相談ワンストップ窓口」を設置し、本市の気候風土、医療機関、交通機関、冬の生活、ゴミの分別、子育て支援等の説明を行っている。

問 移住を促進するに当たっての課題は。

また、協議会を経由しない移住者の把握は。

答 問題点としては住居と仕事がある。住居については、ニーズに対して供給が少ない。仕事については、希望の職種、給料等の条件が合致しないケースがある。協議会を通さない移住者の実態把握に努力している。

問 移住後の問題点とその解消のためのフォロー体制は。

答 仕事がなくなり富良野での暮らしを諦めた方や、地域に溶け込めず地域と疎遠になる場合

がある。

現在、移住者と定住者との意見交換の場を設けていて、今後移住者の個別ニーズを掘り起こす中で、問題点を整理しフォロー体制を検討する。

市有財産の利活用は

問 旧麓郷中学校の今後の利活用について、方向性を定める時期ではないか。

答 地域要望の意見がまとまり次第その意見を踏まえ、利活用検討委員会で今後の利活用又は処分方法を決定する。

問 地域環境に配慮した決定を地域は望んでいるが。

答 十分配慮した上での決定をしていく。



旧麓郷中学校

今 利 一

〔市民連合〕

市民の目による監視活動が必要

問 布礼別神社山に生息する希少動植物の保護について、今後の教育素材としての活用は。

答 布礼別神社山に生息している希少動植物については、環境省のレッドリストで準絶滅危惧種に指定されている。過去に上富良野町の生息地においてマニアにより乱獲され絶滅した経緯があり、平成22年1月、日本蝶類保護協会から、布礼別神社においても同様の行為が行われる



希少植物（オクエゾサイシン）

事態を懸念し、生涯学習センターに相談があった。その後看板を設置し乱獲防止を図っている。教育素材についての活用は、富良野の自然に親しむ集い、放課後子ども教室での観察会を実施、今後も実施し生息環境を守る。

教育の中立性を保つ

問 教育委員会制度改革は、6月13日に参議院本会議で可決、成立したが今後の教育委員と行政との関係について伺う。

答 改正の概要については、教育長と教育委員長を一本化した新たな責任者としての教育長が教育委員会を代表することになる。今後における市の考え方は、教育の中立性を保ちながら教育委員会を引き続き執行機関と規定している。今後も法に基づいて進めていく。教育委員会としては、本市の特色ある学校教育の実現に向け「すべては子ども達のために」を合言葉に、地域の子どもは地域全体で守り育てるという考えのもと、市校長会・教頭会をはじめPTA連合会などと連携を図り教育環境の整備に取り組む。

広 瀬 寛 人

〔ふらの未来の会〕

富良野市総合計画の進捗状況は

問 病後児保育施設の見通しは。

答 市アンケート調査の結果からニーズが多い状況なので各関係機関団体等と協議を進め、実現に向けて様々な角度から検討する。

問 児童館と放課後子ども教室の位置づけは。

答 保健福祉部と教育委員会との両部局間連携の下、平成26年度中に担当部局の一本化に向けて検討する。

問 畜産飼料自給率向上対策は。

答 平成25年度で68.5%となっており、平成32年度には73%まで向上させる目標を掲げている。

問 耐用年数を超えた庁舎改築事業の考え方と進捗状況は。

答 「庁舎等整備検討委員会」及び「庁舎・文化会館部会」を

設け庁舎、文化会館及びスポーツセンターの3つの大規模施設を検討中。将来人口を想定した施設の複合化、建設3施設の計画的整備年次、事業費の確保等、未だに多くの課題がある。



富良野文化会館

後期計画に向けた市長の基本的考え方は

問 現在市職員の雇用並びに管理職登用は男性189名、女性87名で部長職男性8名、女性0名、課長職男性40名、女性2名となっている。雇用の男女比率や女性管理職登用に目標を掲げる考えは。

答 男女共同参画の考えに基づき平成26年度から人事評価制度を導入していく。

石上 孝雄

〔民主クラブ〕

市道の維持管理は

問 常に万全を期することが必要、体制はどうなっているか。

答 職員による道路パトロール、地域住民、自治会等からの情報提供により不良個所の状況を把握し、道路を良好な状態に維持するため適切な処置を講じ適正な道路管理に努めている。



市道補修作業

問 住民からの通報、道路パトロールによる情報収集等の強化についての考えは。

答 市内全域を週一回以上パトロールしているが、観光シーズ

ン等の交通量が増加する期間には、重点的に主要幹線道路のパトロールを強化するとともに、市街地については、自転車と徒歩により現地の状況に応じたパトロール体制を編成し、交通の確保と事故防止の徹底を図っている。今後においては、道路上の危険個所に関する情報収集のため、市内道路を利用する事業者からの情報提供を受ける新たな取り組みも必要と考える。

旧樹海東小学校の跡地利用

問 未利用になって2年が経過したが、今後の利用計画は。

答 富良野市未利用財産利活用基本方針に基づき、将来的に利活用の目途がない財産は①積極的に民間に売却②売却が困難なものについては貸付をすることとしている。今後、富良野市公有財産利活用検討委員会を開催し、活用又は処分方針を正式に決定していく。それまでの間の施設及び周辺環境は、適正に管理する。キカラシ、向日葵などの景観作物の植栽については、遊休地の活用を含め地元と協働の視点で協議を進めていく。

総務文教(事務調査報告)

■調査第一号「学校内における児童生徒への危機管理体制について」

本委員会では、児童生徒が一日の多くの時間を過ごす学校が、安全で楽しい場ではなくてはならないと考え、学校内の危機管理体制について調査を進めてまいりました。

委員会の動き

学校で起こると考えられる危険な事例、危機的な状況にはどのようなものが想定できるか、けがや事故への対応、災害発生時、不審者の侵入、いじめなど様々な事柄が予想されます。万が一、そうした危機が発生した場合には、状況に応じて迅速かつ的確な対応が必要であることから、各学校では、危機管理マニュアルなどを作成し、安全安心の確保に務めています。こうした学校の日ごろの努力にもかかわらず、児童生徒の命に係わる事件や事故が全国で発生しております。

本委員会では、特に近年増えてきていると言われる子どもたちのアレルギー疾患の状況と、けがなどによる救急搬送時の対応に着目し、調査をしてまいりました。

また、食物アレルギーをはじめ、全国の学校での痛ましい事案も起きていることから、本市においても、いま一度安全対策を見直してみる必要があると受けとめております。

今後は、他市の学校教育現場での危機管理に関する取り組み体制も参考に、学校内はもとより学校運営に関係する機関や団体と連携するなど、どのような協力体制が必要か調査する必要がある、中間報告と致します。



学校危機管理マニュアル

委員会の動き

保健福祉(事務調査報告)

■調査第二号「高齢者の健康づくりと介護予防、認知症予防について」

保健福祉委員会は、富良野市民皆さんの「健康で安心して暮らせる富良野市」をめざし委員会活動を行ってきました。

今年の2月末富良野市の人口23,544人、65歳以上の高齢者数は6,714人、75歳以上の高齢者(後期高齢者)3,587人、高齢化率(総人口に対する65歳以上の高齢者の占める割合)28.52%で22%を超えると超高齢社会と言われる今後高齢化率増加が予想されます。

富良野市保健増進計画(第2次)では健康寿命の更なる延伸に向けて、健康度の高くなっている高齢者については、就労や社会参加を促進する一方で、疾病等による虚弱化を予防又は先送りすることが重要な課題としています。

委員会では、高齢者の健康、健康の定義を皮切りに、健康づくりを中心に議論を重ねていま

す。

その背景には、介護が必要になった原因として、脳血管疾患・認知症・関節疾患・心臓病・糖尿病があげられます。

認知症の要因としては脳血管疾患が多く見られ、要介護要因として、高齢による衰弱・骨折・転倒をきっかけとした生活機能の低下が指摘されております。

また、高齢者は健康診断など日常的な健康管理のほかに、栄養改善、口腔機能の向上など介護が必要とならないよう運動機能向上や各種予防が必要であるなど、幅広い意見が出されたところです。

今後は、他市の先進事例調査し議論を深めたいことから継続調査をすることと致します。



認知症講演会

経済建設(事務調査報告)

■調査第二号「観光行政について」

本委員会は、担当部局に資料の提出と説明を求め、富良野市の観光行政について調査を進めてきております。

担当部局からは、①広域観光(富良野美瑛広域観光推進協議会)について、②富良野市の観光について、③富良野市と各団体との役割分担について、④平成26年度の主な取り組みについての説明を受け、本市の観光行政についての取り組みの現状と課題の把握を行ってきております。

本市では、平成19年に富良野市国際観光促進協議会において観光振興計画が策定され、現在は、後期5カ年計画に基づき、各種観光施策が実践されているところとす。また、富良野沿線に美瑛町を含めた広域観光においては、平成29年度の観光庁による「ブランド観光圏」認定に向けた取り組みが展開されています。

これまでの委員会では、将来



へそ祭り

的な富良野市のまちづくりを考えていく上で、観光がまちづくりに果たす役割、市民がどのように観光と関わりを持つべきか、その目指すべき方向性を確認し、その中で行政の役割とは何かをテーマに議論を進めております。

各委員からは、主に行政と観光協会の役割分担、観光分野における緊急雇用対策、観光と農業のつながり、地域観光振興計画の推進体制などについて意見が出されております。

これまでの施策の中で行政が取り組むべきものとそうでないものにも言及しながら、真に必要な施策とは何か、さらに深く議論の掘り下げが必要なことから継続調査を求めました。

議会改革特別委員会

■議員定数現行の18名維持を報告

平成25年第1回定例会で再設置以降、議会改革特別委員会では次期の改選に向け「議員適正化」について議論を重ね、現行の18の議員定数を維持することを決定しました。

昨年4月に「議員定数と議会の機能」をテーマに自由討議を行い、5月には議員全員が経費を出し合い「地方議会研究会代表・野村稔氏」を招き議員研修会を開催し自由討議を行い、議会報告会では議員定数をテーマに市民の皆さんから意見を拝聴し、さらに道北議長会主催の議員定数に関する「北大教授神原勝氏」講演会に参加するなど鋭意協議を重ねてきました。

現在の地方自治の運営は、従来の中央集権型から地方のことは地方で決める時代となっており、地方自治体の意思決定機関である議会は今まで以上に市民の目線に立った議論やチェック、提案能力が求められる

ており、議員定数について色々な角度から議論を重ねてきました。特に議論のあった点は、常任委員会体制の検討、他の自治体との比較、行政課題に対する議会体制、市民と協働の議会の構築、政策機能の重要性、議会機能の維持向上など今後の議会の在り方について多くの意見が出されました。

議員定数については、住民の代表機関として議会活動で住民の意思を的確に反映し、議会が持つ議事機関と行政監視機能の充実強化を基本に判断すべきものであります。さらに地方分権が進む中「開かれた議会・討論する議会・衆知を集める議会」を基本に議会の強化を目指す富良野市議会は現行の18名とし市民の付託に応えるべきと一致しました。

今後、市民に身近な議会はどうあるべきか、課題を検討し、市民の信頼と負託に応えるため、「富良野に住んで良かった」と実感できるまちづくりをめざし、議会基本条例の策定を図りながら、今後も改革を進めることを表明いたします。

平成26年度も議会報告会を開催します！

月日(曜)・時刻	会 場 名	参 集 範 囲	班	担 当 班 議 員 名
未 定	朝日会館	朝日町・本町・日の出町	3	<1班>
未 定	南コミセン	緑町・扇町・南町	3	◎広瀬 寛人・○渋谷 正文 後藤英知夫・岡野 孝則 菊地 敏紀・横山久仁雄
7/17(木) 済	麻町児童センター	麻町	3	
未 定	育良会館	五区・上御料・中御料	3	
未 定	麓郷集落センター	布礼別・富丘・八幡丘・麓郷全域	3	<2班>
未 定	栄町コミセン	栄町・若葉町・幸町	1	◎大栗 民江・○黒岩 岳雄 本間 敏行・関野 常勝 岡本 俊・日里 雅至
未 定	東春コミセン	春日町・東町	1	
未 定	北の峰コミセン	北の峰町・学田三区・下御料	1	<3班>
未 定	扇山公民会館	布部・扇山	1	◎今 利一・○小林 裕幸 萩原 弘之・石上 孝雄 天日 公子・北 猛俊
未 定	東山公民館	東山・西達布・老節布・平沢	1	
8/8(金)18:30	末広コミセン	末広町・弥生町・若松町	2	
未 定	東部児童センター	花園町・錦町・新光町・住吉町・瑞穂町・東雲町	2	
8/28(木)18:30	西地区コミセン	桂木町・新富町・西町・北斗町・清水山・島の下	2	
未 定	鳥沼会館	鳥沼・大沼・学田二区	2	
未 定	山部福祉センター	山部全域	2	◎班長 ○副班長

議会報告会は、本年度で4年目となります。市民の皆さんに議会がより身近に感じていただけるように、地域に議員が出向き議会の活動状況を報告し、またはご意見をいただき、議会活動に反映していきます。日程が決まっている会場及び予定している会場をお知らせいたしますので、是非多数の皆さんがご参加下さいますようお願いいたします。また、未定の会場で、日程が決定した折には、地域の皆さんにチラシや議会ホームページなどでお知らせいたします。

第 1 回 臨 時 会

新議員に 後藤英知夫氏が当選

◇前市議会議員千葉健一氏の辞職により欠員が生じていた市議会議員の補欠選挙で、3名の立候補の届出があり、4月20日に投票が行われた結果、後藤英知夫氏が当選しました。

臨時会において、欠員となっていた保健福祉常任委員会へ補充選任されました。



後藤英知夫氏



副市長
石井 隆氏



教育長
近内栄一氏

■市長改選後初の臨時会を開催

4月20日に行われた富良野市長選挙で能登市長が再選され、改選後初めての富良野市議会臨時会が5月20日に開催されました。

市長側提出案件は7件（内訳：予算1、人事2、報告4）議会側案件が2件あり、それぞれ審議・可決されました。

特に人事案として、副市長の選任では石井隆氏を再選、教育委員の任命では近内栄一氏を任命し、能登市政の3期目がスタートしました。

そのほかには、平成26年度一般会計補正予算で、緊急雇用創出事業350万8千円、地域特産品振興対策事業195万2千円が追加されました。

議会側案件では、富良野市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、委員には桐澤博氏（再）・堀川真理氏（再）・高畑公子氏（再）・伊藤和朗氏（新）、補充員には、藤本利昭氏（再）・河合良美氏（再）・荏原哲氏（再）・堀田修司氏（再）がそれぞれ選任されました。

可決された意見書

◇第2回定例会に議員提案された意見書は次の5件です。意見書は可決後、直ちに関係機関に送付しました。

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書（日里 雅至 議員 外6名）

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の対象となる治療がインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されているため、対象とならない患者が多い。そのため高額な医療費の負担や就労不能など生活に困難を来しているため、医療費助成を含む生活支援の拡充を求める意見書

●政府規制改革会議の「農業改革に関する意見」の取り扱いに関する意見書（広瀬 寛人 議員 外6名）

政府の規制改革会議が発表した意見は、地域農業を大きく変容させ、農業者をはじめとして地域住民や国民生活に重大な支障をきたす懸念があることから、「農林水産業・地域の活力創造プラン」改定時に反映させる場合は農業者や国民の視点に立

ち、慎重な取り扱いをするよう求める意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書（岡野 孝則 議員 外5名）

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の振興施策の充実・強化を求める意見書

●地方財政の充実・強化を求める意見書（今 利一 議員 外7名）

地方自治体が担う役割は年々拡大しており、国と地方自治体との十分な協議の下、地域の財政事情を的確に見積もり、これに見合う地方交付税及び一般財源総額を確保すること

を求める意見書

●2015年度国家予算編成における教育予算確保・拡充を求める意見書（岡本 俊 議員 外5名）

子ども達に行き届いた教育を保障するため、義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持、当面負担率2分の1への還元など教育予算の確保・拡充を求める意見書

■本会議等の開催状況

◆平成25年1月から12月までの本会議、常任、特別委員会等の開催状況を、お知らせします。

■本会議の開催状況

区 分		会期 日数	会日 数
定例会	第1回(2/27~3/19)	21	6
	第2回(6/11~21)	11	5
	第3回(9/4~13)	10	5
	第4回(12/3~13)	11	4
	計	53	20
臨時会	第1回(7/4)	1	1
	計	1	1

■常任委員会等の開催状況

区 分		開催日数
常任委員会	総務	21
	保健	22
	経済	14
	文庫建設	14
	計	57
各種議会	議会運営委員会	16
	議員協議会	5
	代表者会議	7
	計	28
特別委員会	予算	4
	決算	6
	審査	15
	報告	19
	計	44
総 計		129

議 会 日 誌

5月

- 1日・保健福祉委員会
・富良野沿線市町村議会議長会総会
- 13日・代表者会議
・議会改革特別委員会
・富良野市議会第1回臨時会告示日
- 14日・保健福祉委員会
- 16日・経済建設委員会
- 20日・議会運営委員会
・富良野市議会第1回臨時会
・議員協議会
・総務文教委員会
- 22日・広域連合議会第2回臨時会告示日
- 28日・総務文教委員会
- 29日・広域連合議会運営委員会
・広域連合議会第2回臨時会
- 30日・保健福祉委員会
・経済建設委員会

6月

- 3日・議会改革特別委員会
- 5日・保健福祉委員会
- 6日・総務文教委員会
- 9日・富良野市議会第2回定例会告示日
- 10日・正副議長・議運正副委員長会議
- 11日・議会運営委員会
・保健福祉委員会
・代表者会議
- 16日・第2回定例会（1日目）
・広報特別委員会
・過疎地域自立促進市町村計画審査特別委員会
- 18日・過疎地域自立促進市町村計画審査特別委員会
- 19日・第2回定例会（2日目）
・議会運営委員会
- 20日・第2回定例会（3日目）
・保健福祉委員会
- 23日・第2回定例会（4日目）
・過疎地域自立促進市町村計画審査特別委員会
- 25日・第2回定例会（5日目）
- 26日・経済建設委員会

7月

- 1日・議会改革特別委員会
- 3日・総務文教委員会
- 4日・経済建設委員会
- 7日～9日
・総務文教委員会都市事例調査
- 8日・道北議長会議員研修会
- 10日・広報特別委員会
- 15日・広報特別委員会
- 16日・経済建設委員会
- 17日・保健福祉委員会
- 18日・総務文教委員会
- 22日・広報特別委員会
- 23日・議会改革特別委員会
- 25日・議会運営委員会
・経済建設委員会
- 29日・へそ踊り参加（議員会）
- 31日・総務文教委員会

傍 聴 し て みませんか

平成26年第3回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

【日 程】

9月12日(金) 開 会 日
9月18日(木) 一般質問
9月19日(金) 一般質問
9月22日(月) 予 備 日
9月25日(木) 最 終 日

※開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程をご確認ください。
※多くの方の傍聴をお待ちしています。

お問い合わせ：議会事務局
☎39-2322

都市事例調査

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の都市事例調査を行います。

委員会名	調 査 件 名	調 査 地	調査日
総務文教委員会	学校内における児童生徒への危機管理体制について	東京都八王子市 群馬県渋川市	7月7日 ～9日
保健福祉委員会	高齢者の健康づくりについて	山形県上山市 埼玉県志木市	8月中旬
議会運営委員会	議会運営について	千葉県流山市 茨城県取手市	8月上旬

編集後記



▼盛夏の候となりました。春の雪融けからの天候は、主産業の農業に大きな影響を与えます。もう一方の観光面も同様です。

せっかく来たのに悪天候で楽しめなかった・・・これからの好天での良き出来秋を願っております。

▼6月第二回定例会と同時期に始まったサッカーワールドカップ、日本代表は残念ながら予選で敗退となりましたが現地観戦の日本人サポーターが試合後に

ゴミ拾いする「試合結果とゴミ拾いは別」の行動に対し「試合には負けたが礼儀正しさは高得点を挙げた」「他国のサッカーファンに衝撃を与えた」など世界から称賛を浴びているのとこので嬉しくなりました。

▼富良野は人と自然にやさしい環境のまちです。日本人サポーターの行動は、富良野市民が取り組んでいることと連動しているように思います。

▼子ども達も夏休み、お盆など交流が盛んな時季、事故に気を付けて有意義な夏を。

議会広報特別委員会

委員 黒 岩 岳 雄